

社会動物部

旧部長 農業ビジネス科3年 永田 倭國

新部長 食品サイエンス科2年 徳永 樹澤

私たち社会動物部は、日々動物のお世話や管理をしながら活動を行っています。今年も小学生や特別支援学校生徒との交流、移動動物園によるイベント参加や農業祭でのふれあい動物園を開くことができました。様々な交流を体験し、動物を通して多くの人との関わりを持つことができました。

これからも島原農高の動物たちとの交流を地域の方々に楽しんでもらえるように、日々の動物たちの世話を部員全員でしっかりやっていきたいと思っています。

【飼育している動物たち】

ニワトリ、イヌ、ヤギ、ヒツジ、ウサギ、ハムスター、デグー、モルモット等

【活動内容】

平日の活動は、イヌの散歩から始まり、ヤギ、ヒツジ、ウサギ、ハムスター、デグーに餌をあげて、翌日の餌の準備や水の交換などを行っています。イヌの散歩から帰ってきたらブラッシングやボディケアをしています。そのほか、動物たちを触って人に慣れさせたり、爪などが伸びてないかのチェックも行ったりしています。

休日の活動は、主に動物たちの部屋を掃除したり、イヌはシャンプーやトリミングなども行い、5月になるとヒツジの毛刈りも行っています。

【管理作業】

飼料の準備、給餌、給水、放牧、ブラッシング、散歩、集卵、洗卵、畜舎の掃除他

【令和6年度活動内容】

- ・農業祭によるふれあい動物園
- ・イベント参加による移動動物園
- ・地元小学生との交流学习



野菜部

旧部長 農業ビジネス科3年 小島 関羽

新部長 農業ビジネス科1年 重松 隼汰

私たち野菜部は、3年生1名、2年生3名、1年生1名の5名で、少ないながら活動を行ってきました。

本年度は、野菜部では、野菜園の整備や、トマトの収穫・調製などを行ったり天様々な野菜を栽培管理を行いました。少ない人数での活動ですが、大変なことも沢山ありますが、楽しく野菜を育てることができました。農業祭や地域の直売所へ販売を行いました。野菜作りをしながら仲間づくりを行いたいと思っています。一人でも多くの人に野菜に興味を持ってもらい入部してほしいと思います。どうぞよろしくお願いします。



草花部

旧部長 生活創造科 3年 平山 心

新部長 食品サイエンス科 2年 松本 晴暉

私たちは、3年生10名、2年生8名、1年生18名の36名で活動をしています。

顧問は、中道和也先生、小川土雄先生です。

草花苗や花鉢物、多肉植物など栽培し、草花を部活動で活用しています。また、多肉植物（サボテン含む）や観葉植物、鉢ものの手入れ・寄せ植えもしています。

また、花壇で育てた草花はドライフラワーや押し花に処理し加工したり、更に、自分たちで育てた観葉植物等も農業祭で販売をしました。今年度は、ハーブの活用（ドライ・フレッシュ）や園芸療法についての学習にも挑戦しています。

花や植物を育て、活用することで身体も心も癒やされる、楽しい部活動です。



果樹部

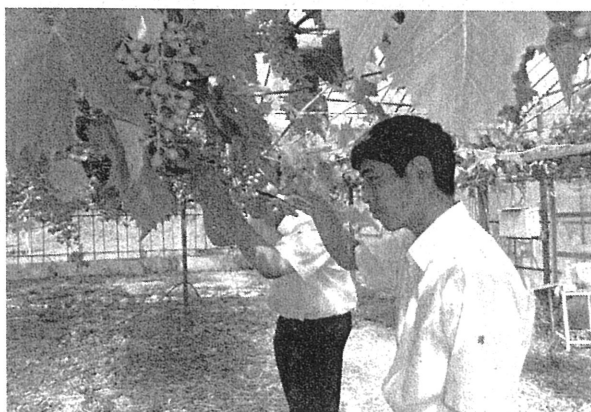
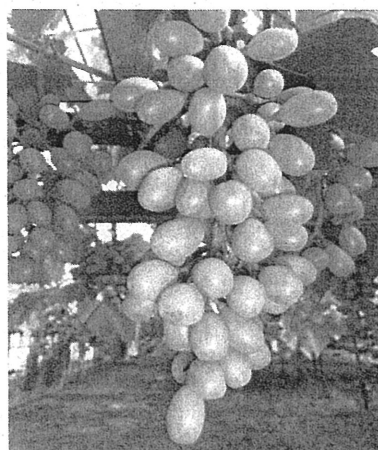
旧部長 農業ビジネス科3年 松島 志恩

新部長 農業ビジネス科2年 本多 樟太

私たち果樹部は3年生3名、2年生2名で、放課後に果樹園で活動しています。顧問は、中道和也先生と林政輝先生です。果樹園では、「ビワ」・「モモ」・「イチジク」・「シャインマスカット」など施設で栽培している果物、「カキ」・「キウイフルーツ」・柑橘類の「温州ミカン」・「スイートスプリング」や「ブンタン」など露地で栽培している果物を栽培しています。活動内容は、学校で栽培されている果樹(特にシャインマスカット)について栽培方法や新しい技術などについて実際に樹木を使って学習しています。昨年はプロジェクト活動で「果樹収穫後の品質管理に関する研究～シャインマスカットについて～」に取り組み、学校代表として「第74回長崎県農業クラブ年次大会プロジェクト発表Ⅱ類」で発表することができました。これからも充実した活動を行っていこうと思います。興味のある人やプロジェクト活動に取り組みたい人は、ぜひ一度、果樹園をのぞいてみて下さい。

○果樹部の主な実績

令和6年度第74回長崎県農業クラブ年次大会プロジェクト発表Ⅱ類に学校代表として出場



食品加工部

旧部長 生活創造科3年 谷口菜々子

新部長 生活創造科2年 荒木咲里奈

こんにちは。私たち食品加工部は、現在3年生9名、2年生7名、1年生9名の計25名で活動しています。地域の生産者の方々をはじめ、地元企業の方々や顧問の先生方にご指導、ご支援、ご協力をいただきながら、地域の農産物を活用して、新たな特産品、オンリーワンの島原ブランドの商品開発や、農産廃棄物の有効活用など幅広い分野にわたる活動を行っています。

今年は、九州学校農業クラブ連盟発表大会のプロジェクト発表「第Ⅲ類」において「救いたい！島原「昭和福はぜ」の輝きをもう一度～木蠟文化の継承で世代を越えた町おこしを～」という発表をさせていただき、優秀賞を受賞することができました。これからも島原の魅力をさらに発見できるよう日々の活動を充実させていきたいと考えています。

また、私たちの部活では地域の方々にご協力いただきながら、新商品の開発を進めました。現在は、「和ろうそく」作りに携わっていただいた本多木蠟様に引き続き協力していただき、原料となる「昭和福はぜ」を地域に普及する活動を行っています。

研究活動は大変ですが、これからも地域の方々に協力いただきながら、私たちの研究で島原の伝統文化の継承と情報発信を行い、地域活性化を目指したいと思います。

とてもやりがいがあり、1人1人が輝ける部活ですので、調理や製菓、島原の伝統文化について興味がある方また、そうでない方も食品加工部への入部を心よりお待ちしております。



令和6年度大会成績

○令和6年度第74回長崎県学校農業クラブ連盟年次大会

プロジェクト発表 分野「Ⅲ類」最優秀賞

研究題目：救いたい！島原「昭和福はぜ」の輝きをもう一度

～木蠟文化の継承で世代を越えた町おこしを～

○令和6年度第67回九州学校農業クラブ連盟発表大会 分野「Ⅲ類」優秀賞

○令和6年度第13回島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生研究発表大会

■調査・研究の部 最優秀賞

研究題目：救いたい！島原「昭和福はぜ」の輝きをもう一度～木蠟文化の継承で世代を越えた町おこしを～

■商品開発の部 最優秀賞

研究題目：島原半島産ブロッコリーを活用した新商品開発を目指して

畜産部

旧部長 農業ビジネス科3年 橋本和佳奈
新部長 農業ビジネス科2年 北浦 怜奈

私たち畜産部は現在3年生3名、2年生1名で活動しています。放課後、乳牛・和牛の飼育管理（牛の体調管理、除糞、エサ作り、エサやり）を通し、毎日、牛の可愛さに癒されながら活発的に活動しています。今年は新しい部員が1人入部し、前年度に比べ、更に活気のある部活になりました。先生方とも仲睦まじく、分からないことも分かりやすく教えてもらえるので楽しい活動を送れています。私たち畜産部のメンバーは、家が農家の人や非農家の人もありますが協力しながら仲良く・楽しくやっています。この部活に入って自分でも気づかなかった才能や得意なことに気づき、将来、酪農家や和牛の肥育農家・繁殖農家などの道に進む人、そうでない人もこれからの役に立つ経験が積めるのでやりがいを感じられます。また、牛という動物と関わっていくうちに新しい生命の誕生などを間近で見ることができ、命の重さや大切さ、家畜がいなければ牛乳やチーズ、お肉などおいしいものが食べられないのだということを実感し、学べるのでとても魅力的な部活です。

次に、今年から新しい取り組みで3月から肥育し始めたもみじ号という長崎和牛を10月の下旬、佐世保食肉センターで屠畜し、お肉になったものを農業祭でみついさんの店頭で販売しました。地域の方に喜んでもらえたのでとてもうれしく思いました。そして、来年もお肉の販売をどのような形で売るのはまだ検討中ですが地域の方々に喜んでもらえるよう努力していきます。

畜産部は、牛に興味がある人・大きい動物が好きな人・牛の事をあまり知らない人でも大歓迎です。私は、高校に入り初めて牛と接しました。是非皆さん、私たちと一緒にかわいい牛を育てましょう！本校から少し離れていますが一度牛舎に足を運んでもらうと嬉しいです。待ってます！



生活科学部

部長 生活創造科3年 宿野部 咲空

私たち生活科学部は、3年生3名、2年生1名、1年生10名で、顧問の八木先生、松瀬先生、末永先生、岩本先生のご指導のもと、活動をしています。

今年度は10月にハロウィーンパーティーを行いました。クッキー、スイートポテト、パウンドケーキを焼き、ハロウィーン風に仕上げました。学年の壁を越え、協力して作ることができ、仲が深まりました。

今後も私たちは学年や学科に関わらず、部員同士で協力し、助け合いながら、明るく楽しく活動していきたいと思います。

